

**YAMAHA**

**COMPUTER-BASED MUSIC SYSTEM**

**CBX-201 V2**

**Start-up Manual**

with the Guide for Hello! Music! Version 2.0

スタートアップマニュアル／Hello! Music! 2.0ガイド

**HELLO!**  
**MUSIC!**

for  
Mac

取扱説明書

COMPUTER-BASED MUSIC SYSTEM CBX-201 V2

# はじめに

---

このたびはYAMAHA Hello! Music! CBX-201 V2をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
コンピューターが創りだすクオリティの高い音楽、コンピューターミュージックのすばらしさは、すでにご存じのことと思います。

CBX-201 V2は、Apple社のMacintoshコンピューターに音楽を自動演奏させたり、Macintoshコンピューターを使って音楽を制作（作曲）、アレンジ（編曲）するための「シーケンサー」ソフト（Hello! Music! 2.0）と、Macintoshに直接接続できる専用音源（トーンジェネレーターCBX-T3）を組み合わせた、コンピューターミュージックの入門キットです。

今回のバージョンアップでは(バージョン2.0)、楽譜作成機能が追加されました。また、伴奏ソフトウェアのBand-in-a-Box J5.0も付属アクセサリーとして新たに同梱されています。

CBX-201 V2による手軽でクオリティの高いコンピューターミュージックの世界が、Macintoshの可能性をまた一歩広げました。

## MIDI (Musical Instrument Digital Interface)

シンセサイザーなどの電子楽器をコントロールするための世界共通の規格で、「ミディ」と読みます。

現在では多くの電子楽器にMIDIインターフェースとMIDI端子が装備されており、MIDIケーブル（接続コード）を通して、音の強さ、高さ、長さなどの情報を伝達します。

## シーケンサー・ソフト

コンピューターに、音楽を自動演奏させるためのデータを簡単に効率良く入力し、シンセサイザーなどの電子楽器を演奏させるコンピューターソフトウェアのことです。  
演奏データを複数のパート（楽器）に分けて入力、編集することにより、一人でもバンド演奏を楽しむことができます。

# 目次

---

## 第1章：スタートアップ

Welcome to Hello! Music! 2.0 .....	1
Macintoshの操作 .....	1
Hello! Music! 2.0について .....	1
インストールについて .....	2
マニュアルについて .....	2
シーケンスについて .....	5
Hello! Music! ユーザーサポートサービス .....	6
同梱附属品について .....	11
Hello! Music! 2.0 フロッピーディスク .....	11
トーンジェネレーター（音源） .....	11
ケーブル .....	11
取扱説明書 .....	12
自動伴奏ソフトウェア .....	12
その他 .....	12
機器の接続について .....	13
MacintoshとCBX-T3との接続 .....	13
オーディオ機器との接続 .....	13
入力用キーボードの接続 .....	13
ヘッドフォンによるモニター .....	13
AUDIO IN端子への接続 .....	14
接続についての注意 .....	14
インストールについて .....	15
ハードディスクへのインストール手順 .....	15
Hello! Music!の起動 .....	17
MIDIインターフェイスの設定 .....	18
HELP機能 .....	19
オンラインヘルプ .....	19
ヘルプメニュー .....	19
「Vision」ファイルについて .....	20

---

## 第2章：ノーテーション・リファレンス

ノーテーション・リファレンス .....	21
(1) Sonata フォント .....	22
(2) 表示の切り替え .....	22
(3) 表示のズームインとズームアウト .....	23
(4) 楽譜表示で表示されるトラック .....	24
(5) 楽譜表示の設定 .....	25
(6) 楽譜上の音符の選択 .....	26
(7) 楽譜上の音符の変更 .....	29
(8) キーと拍子の変更 .....	30

## 第3章：プリントプレビューウィンドウと印刷

プリントプレビューウィンドウ .....	32
書式設定 .....	34
(1) 書式設定の各項目の単位 .....	34
(2) タイトルのマージン .....	34
(3) 総譜表（スコア）の間隔 .....	34
(4) 五線の間隔 .....	35
(5) 五線のインデント .....	35
(6) 一段の小節数 .....	36
(7) 一ページの総譜表数 .....	36
(8) ページ数 .....	36
(9) 現在のページ .....	36
(10) ページ番号印刷 .....	36
(11) 小節線を総譜表内で連結 .....	36
テキストの追加 .....	38
フォントメニュー .....	38
楽譜の印刷 .....	39

## Welcome to Hello! Music! 2.0

### Macintoshの操作

CBX-201 V2のマニュアルはすべて、Apple社Macintoshコンピュータの基本操作を理解していることを前提に表記してあります。したがってMacintoshの操作、基本用語などについてわからないことがある場合は、Macintoshのマニュアルをご参照ください。

ここでは、Macintoshで最低限必要な基本操作だけを挙げておきます。

- クリック ..... マウスのボタンを一回押す。
- ダブルクリック ..... マウスのボタンを連続して二回押す。
- ドラッグ ..... マウスのボタンを押したままマウスを動かして、ポインターを移動する。
- ポインター ..... マウスの動きに連動して、画面上のものを指し示す道具。基本の形は矢印だが、状況に応じて形は変化する。
- アイコン ..... デスクトップ上のディスクやファイルを表す絵記号。アイコンの大きさは決まっているが、形は種類によって異なる。
- アプリケーション ..... 一般的にプログラムと呼ばれるソフトウェアの核となる部分。

### Hello! Music! 2.0について

CBX-201 V2には基本シーケンサーソフトとしてHello! Music! 2.0が同梱されています。Hello! Music! 2.0は、Hello! Music! (旧バージョン) に新しい機能が加えられ、バージョンアップがほどこされたものです。

#### 従来Hello! Music!の機能 / 特長

1. コンピューターミュージックが初めての方でも気軽に使える、Macintoshの操作性をいかした高機能シーケンスソフトです。
  - メニューやアイコンをマウスでコントロールする簡単操作。
  - ディスプレイ上で絵を描くようにデータの入力 / 修正が可能。
2. 音符の長さや音程を感覚的に理解できるピアノロール表示を採用しています。
3. スタンダードMIDIファイルなど市販のソングデータや、ほかのソフトウェアで作成したデータを読み込んで演奏することができます。

#### Hello! Music! 2.0の追加機能

4. 上記2. のピアノロール表示のほかに、ソングデータを楽譜で表示、編集できる機能を加えました。
5. ディスプレイに表示した楽譜をそのまま出力し、印刷できるようになりました。
6. リアルできれいな楽譜印刷を可能にする楽譜用フォント「Sonataフォント」を用意しました。
7. 簡単にハードディスクなどにインストールできるように、カスタムインストール機能付きの「簡易インストーラー」を用意しました。

CBX-201 V2には、伴奏ソフトのBand-in-a-Box J5.0も付属アクセサリーとして同梱していますのでご活用ください。(Band-in-a-Box J5.0の詳細については、付属の取扱説明書をご参照ください。)



CAUTION

#### 【注意】

システムはApple Macintosh社純正の漢字Talk 6.0.7 (またはそれ以上; 漢字Talk7対応) をご使用ください。異ったシステムでの動作は保証いたしかねますのでご了承ください。

## インストールについて

Hello! Music! 2.0では、マスターディスクから直接プログラムを起動することはできません。必ず、一旦ハードディスクなどにインストールしなければなりません。（詳しくは、15ページをご参照ください。）

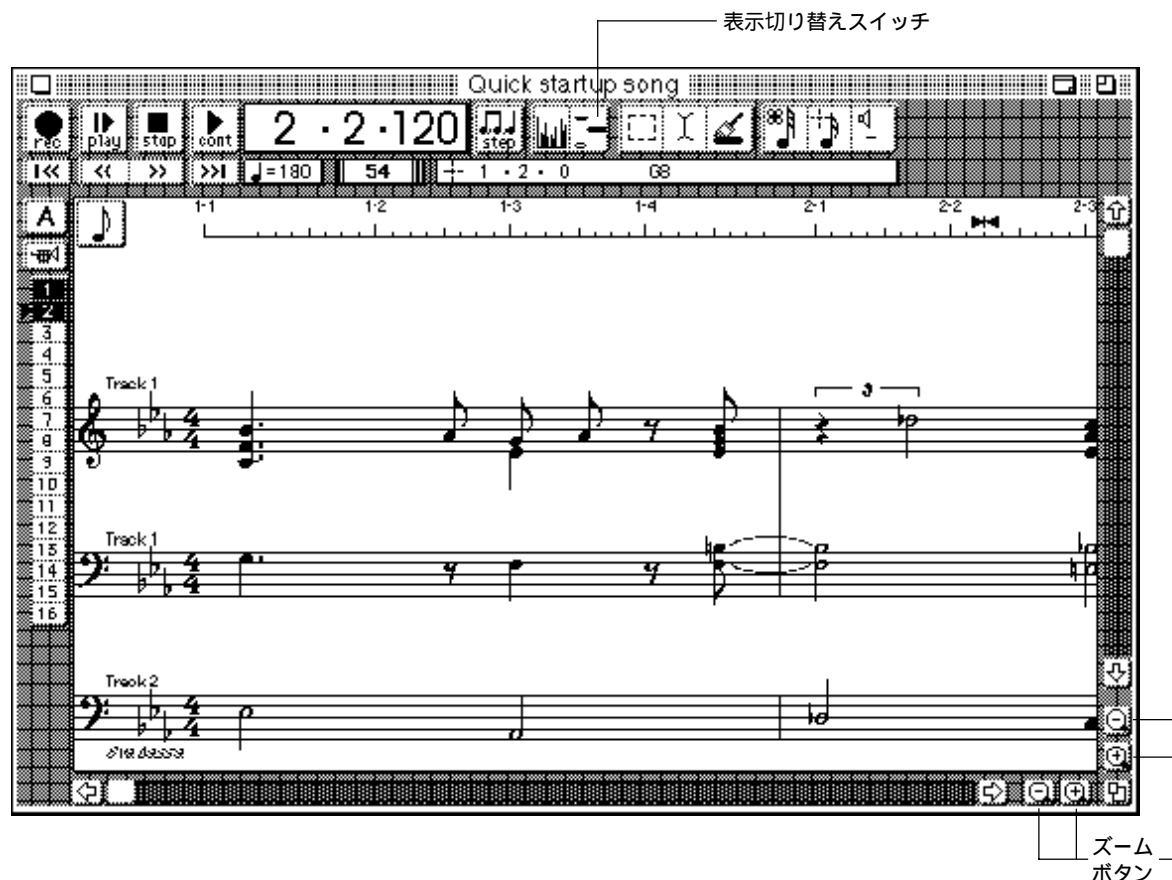
### 旧バージョンをお持ちの方へ

- 旧バージョンのHello! Music!がインストールされているハードディスクにHello! Music! 2.0をインストールしても、旧バージョンのアプリケーションなどが自動的に置き換えられることはありません。  
したがって、旧バージョンのHello! Music!がインストールされているハードディスクにHello! Music! 2.0をインストールした場合、バージョンの違う同じアプリケーションが同時に存在することになります。  
このままの状態では両方のHello! Music!を使用することも可能ですが、Hello! Music! 2.0をインストールした後は、すみやかに旧バージョンのHello! Music!のファイルを処分されることをお勧めします（デインストール、またはゴミ箱に捨てる）。
- 旧データについて：  
旧バージョンのHello! Music!で作成したデータは、すべて直接Hello! Music! 2.0で読み込んで使用することができます。
- マスターディスクについて：  
ヤマハは旧バージョンのマスターディスクは回収しません。ユーザーの皆様各自でご処分ください。  
この際、新バージョンのマスターディスクと混同することのないようご注意ください。

## マニュアルについて

Hello! Music! 2.0のマニュアルの中で「スタートアップマニュアル」は、今回のバージョンアップに伴って大きく改訂されました。新しく付け加えられた楽譜表示や楽譜印刷機能は、すべてこの「スタートアップマニュアル」で説明しています。  
「ユーザーズマニュアル」と「リファレンスマニュアル」については、旧バージョンのものがそのまま同梱されています。以下の変更点にご注意ください。

エディットウィンドウの中の「表示切り替えスイッチ」と「ズームボタン」( 22, 23ページ参照)



エディットウィンドウがアクティブになっているときの「ファイル」メニュー  
( 32ページ参照)

- ・「ファイル」メニューの中に楽譜印刷関連の3項目(「用紙設定」、「プリント・プレビュー」、「プリント」)が増えています。

ファイル 編集 オペレーション	
新規作成	⌘N
開く...	⌘O
保存	⌘S
新規保存...	
バックアップ保存...	
復旧	
別のファイル形式を入力...	optO
別のファイル形式を出力...	optS
用紙設定...	
プリント・プレビュー	optV
プリント...	⌘P
他を起動...	
終了	⌘Q

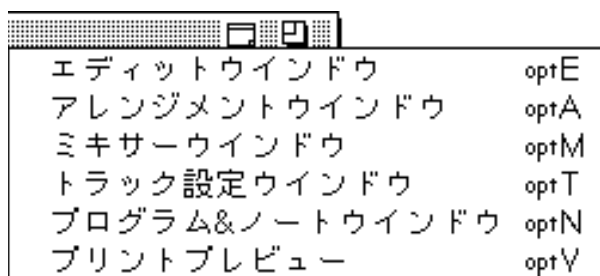
エディットウィンドウがアクティブになっているときの「ヘルプ」メニュー

- ・「ヘルプ」メニューの中の「ウインドウショートカット」の中に「プリントプレビュー」の項目が増えています。



エディットウィンドウの中の（ポップアップ）ウィンドウボタン

- ・「プリントプレビュー」の項目が増えています。



#### CBX Voicesファイル

Hello! Music! 2.0では、CBX Voicesファイルに対応したファイルが起動時に自動的に読み込まれるようになりました。（従って、ユーザーズマニュアル30ページのCBX Voicesファイルの読み込みは不要となります。）



スタートアップ

シーケンス

A

---

B

---

C

D

Y

[empty]

1

2

3

4

5

6

15

16

# Hello! Music!ユーザーサポートサービス

## ユーザー登録のご案内

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、Hello! Music! 2.0をご購入いただいたお客様を登録させていただいております。

つきましては、Hello! Music! 2.0に同梱しております「ユーザー登録用紙」に必要事項をご記入の上、「登録カード返信用封筒」にて至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。

## ユーザーサポートサービスのご案内

サービスの種類によっては、ディスクの返送が必要となります。ディスクのラベルをはがしたり、破損させたりしないようご注意ください。(Hello! Music! 2.0のラベルによって弊社製品と判断します。)

お送りいただいたディスクが弊社製品と確認できない場合やお客様による「ユーザー登録手続き」が完了していない場合、ユーザーサポートサービスはお受けになれません。あらかじめご了承ください。

「ユーザー登録手続き」を完了された方に限り、以下のサポートを行わせていただきます。

## 無償サポートサービスについて

### 1. 購入時、正常に動作しない場合のディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万一Hello! Music! 2.0のオリジナルディスクに記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時点で、すでに破壊や欠損を起こしているために正常に動作しない場合、これらの内容を修復させていただきます。下記の「無償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

お送りいただく前に、お手数とは存じますが必ず次ページの「CBXインフォメーションセンター」までお電話、またはご書面でご連絡ください。

### 2. 無償サポートサービスの申込方法

- 1 「修復の必要なオリジナルディスク」のほかに、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「動作の状態」をご明記いただいた文書をご同封ください。
- 2 ご返送の途中でディスクが破損しないように、包装には十分ご注意ください。(ご返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます。)
- 3 ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください。  
(宅配便の場合は、着払(弊社負担)をご利用いただけます。)

Band-in-a-Box J5.0については、Band-in-a-Boxのパッケージをご覧ください。

### 3. 質問の受付

「Hello! Music! 2.0」の使用方法やユーザーサポートサービスなどについて、郵便・電話による質問をお受けいたします。CBXインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ず明示してください。また、「ご使用のパソコンの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

### CBXインフォメーションセンター

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル3F

ヤマハ(株) R&D東京内 CBXインフォメーションセンター

TEL 03-5458-2484

受付日 月曜日～金曜日(祝日および当社の休業日を除く)

受付時間 10:30～13:00 / 14:00～17:00

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを変更された場合は「製品名」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明示の上、ご面倒でもCBXインフォメーションセンターまで郵便でご通知ください。

## 有償サポートサービスについて

### 1. 有償サポートサービスの内容

お客様が「Hello! Music! 2.0」使用中に、オリジナルディスクを破損された場合、有償でそれらの内容を購入時と同等に修復いたします。必要事項をご記入の上、手数料(各¥3,000)とオリジナルディスクを添え「有償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

また、オリジナルディスクを紛失された場合、有償でオリジナルディスクの再発行をいたします(プログラムディスク：¥30,000 / デモンストレーションディスク：¥5,000)。

お申し込みになる前に、必ずCBXインフォメーションセンターまで電話でご連絡ください。

### 2. 有償サポートサービスの申し込み方法

CBXインフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。  
このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

- 1 次頁の有償サポートサービスの「申込書」に必要事項をもれなくご記入の上、手数料とともに、CBXインフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。

お客様からCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。

- 2 オリジナルディスクを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)を明記して、CBXインフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、郵送の途中でオリジナルディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。

普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

必ずご登録していただいた「ご住所」、「お名前」で、お申し込みください。

お申し込みいただきましたオリジナルディスクは、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間を過ぎても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターまでご連絡ください。

## 破損オリジナルディスクの修復申し込み 紛失による再発行の申し込み

有償サポートサービスの「破損オリジナルディスクの修復」と「紛失による再発行」の申し込みをされる場合は、必ず下の申込書をご使用ください。

### 「Hello! Music! 2.0」CBX-201 V2 破損オリジナルディスク修復申込書

ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/>
お名前	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
製造番号(プログラムディスクに印刷されている番号)	<input type="text"/>
破損メディア( <input type="checkbox"/> 枠の中に✓印をつけてください)	<input type="checkbox"/> プログラムディスク <input type="checkbox"/> デモンストレーションディスク

破損オリジナルディスク修復の手数料は各¥3,000です。

### 「Hello! Music! 2.0」CBX-201 V2 紛失による再発行申込書

ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/>
お名前	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
再発行申し込みメディア( <input type="checkbox"/> 枠の中に✓印をつけてください)	<input type="checkbox"/> プログラムディスク <input type="checkbox"/> デモンストレーションディスク

再発行の手数料は、プログラムディスク¥30,000、  
デモンストレーションディスク¥5,000です。

スタートアップ

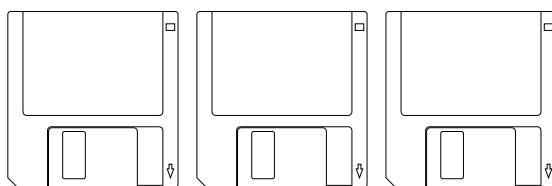
## 同梱附属品について

### Hello! Music! 2.0 フロッピーディスク

CBX-201 V2には、つぎのような同梱品が含まれています。ご確認ください。

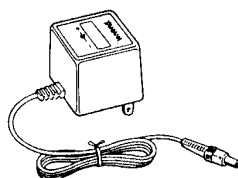
(万一足りない品がある場合は、ただちに購入店までご連絡ください。)

Hello! Music! 2.0 Disk 1 (プログラムディスク; インストーラ)  
Hello! Music! 2.0 Disk 2 (プログラムディスク)  
Demonstration Disk (デモソング集)

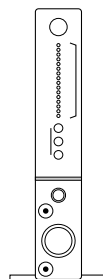


### トーンジェネレーター (音源)

CBX-T3 (ヤマハGM音源)  
CBX-T3専用AC電源アダプター (PA-1505)



電源アダプター



CBX-T3

### ケーブル

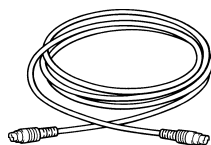
接続用シリアルケーブル

MacintoshのRS422端子 (モデムポート、プリンタポート) へCBX-T3のTO HOST端子

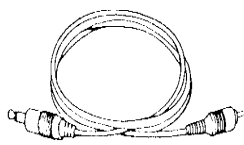
オーディオケーブル (標準プラグ へ RCAピンプラグ) × 2

プラグ変換アダプター (RCAピン 標準プラグ) × 2

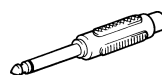
付属のオーディオケーブルを、ミキサーの標準フォンジャックに接続する場合に使用します。



接続用シリアルケーブル



オーディオケーブル × 2



プラグ変換アダプター × 2

## 取扱説明書

- CBX-201 V2スタートアップマニュアル  
(本書：基本セットアップと新機能、楽譜作成機能の説明)
- CBX-201ユーザーズマニュアル  
(楽譜作成機能を除くHello! Music! 2.0の基本操作の説明)
- CBX-201リファレンスマニュアル  
(楽譜作成機能を除くHello! Music! 2.0の各機能の詳細説明)
- CBX-T3オーナーズマニュアル (ヤマハGM音源CBX-T3の説明)

## 自動伴奏ソフトウェア

Band-in-a-Box J5.0 (Band-in-a-Box J5.0の詳細についてはBand-in-a-Box J5.0パッケージの中の取扱説明書をご参照ください。)

## その他

- 保証書
- ユーザー登録用紙
- ユーザー登録用紙返信用封筒
- ユーザー登録用紙は、ユーザーサポートサービスのための登録を兼ねたアンケート用紙です。必要事項をご記入の上、必ずCBXインフォメーションセンター宛ご返送ください。



# 機器の接続について

## MacintoshとCBX-T3 との接続



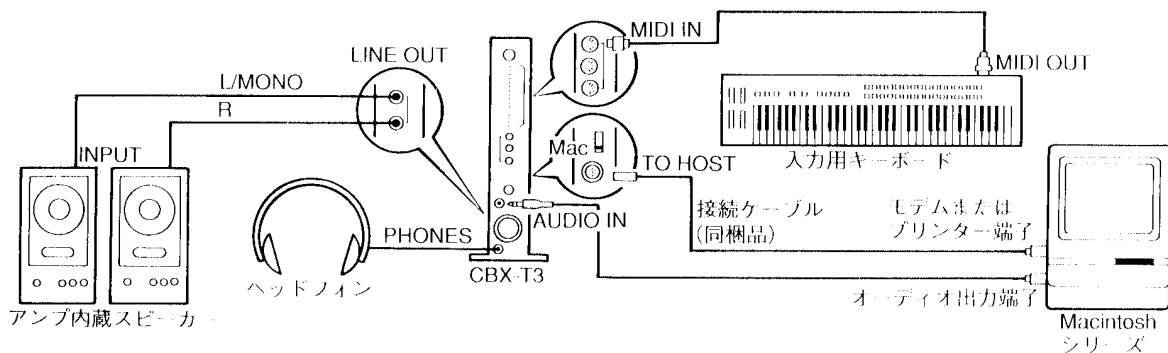
Macintoshのモデムポート（またはプリンターポート）とCBX-T3のリアパネルの「TO HOST」端子とを、付属の「接続用シリアルケーブル」で接続してください。

### 【注意】

CBX-T3のHOST SELECTスイッチは必ず[Mac]にセットします。

## オーディオ機器との 接続

CBX-T3のリアパネルのLINE OUT端子（標準フォンジャック）と、アンプ内蔵スピーカー（ヤマハCBX-S3など）またはオーディオ機器のLINE IN端子を接続します。




## 入力用キーボードの 接続

MIDI端子を備えたキーボード（ヤマハCBX-K3など）のMIDI OUT端子とCBX-T3のリアパネルのMIDI IN端子をMIDIケーブルで接続します。キーボードで、CBX-T3を直接コントロールしたりHello! Music! 2.0に曲のデータを入力したりすることができます。

## ヘッドフォンによる モニター

ヘッドフォンをCBX-T3のフロントパネルのPHONES端子（3.5 ステレオミニジャック）に接続し、演奏をヘッドフォンで楽しむことができます。ヘッドフォンのボリュームはCBX-T3のMASTER VOLUMEで調節します。

## AUDIO IN端子への 接続

Macintoshのスピーカー端子  や他のMIDI楽器、CDプレーヤーなどのオーディオ出力（LINE OUT）端子と、CBX-T3のフロントパネルのAUDIO IN端子（3.5 ステレオミニジャック）とを接続し、CBX-T3のINPUTボリュームを使用してミキシングを行うことができます。

## 接続についての注意

接続する場合は、プラグ部分を持ちしっかり接続してください。接続を外す場合も、必ずプラグ部分を持って外してください。ケーブルはできるだけ新しいケーブルを使用し、不必要に長いケーブルは事故を防ぐためにも使用しないでください。

# インストールについて



## ハードディスクへの インストール手順

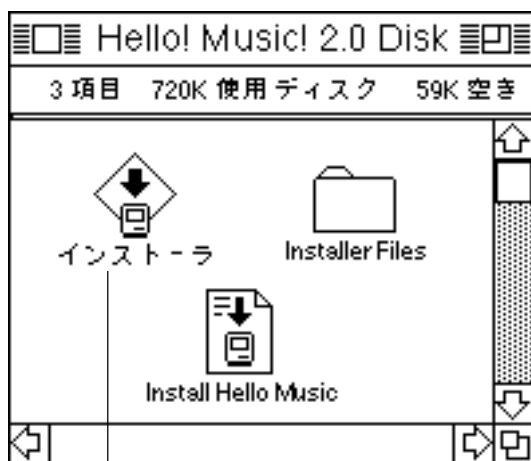
Hello! Music! 2.0のディスクは、ほとんどのファイルが圧縮された状態で納められていますので、一旦ハードディスクにインストールし、ファイルの圧縮を解かなければ使用することができません。Hello! Music! 2.0はフロッピーディスクから直接起動することはできません。

Hello! Music! 2.0をマスターディスクからハードディスクにインストールし、ファイルの圧縮を解くには、Disk 1に納められている「インストーラ」を使用します。

### 【注意】

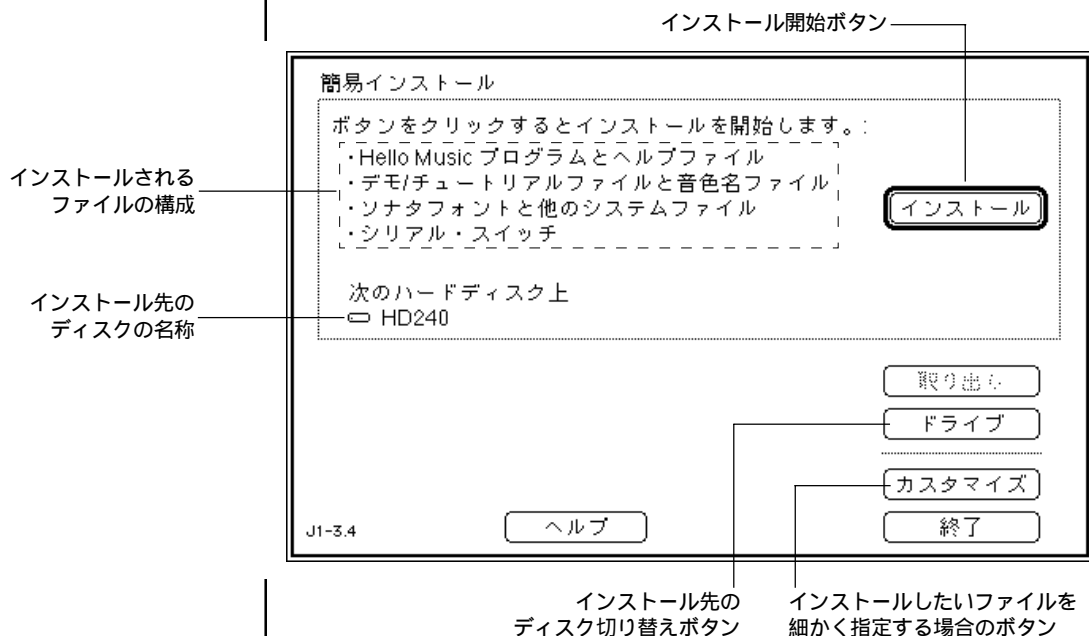
Hello! Music! 2.0などをマスターディスクから複数のハードディスクにインストールすることは、使用許諾契約書によって禁止されています。

- (1) Macintoshをオンにし、Macintoshをデスクトップの画面にします。  
すでにMacintoshを使用している場合は、使用しているアプリケーションプログラムやデスクアクセサリを終了させてください。
- (2) Hello! Music! 2.0のDisk 1をディスクドライブにセットし、ディスクのアイコンをダブルクリックしてディスクを開きます。
- (3) ディスクの中からインストーラという名のファイルを見つけ、そのアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動してください。



インストーラファイル

「インストーラ」の起動画面が現れます。



- (4) Hello! Music! 2.0をインストールしたいディスクの名称を確認してください。複数のハードディスクが接続されている場合には（内蔵タイプ、外付けタイプ）、「ドライブ」ボタンをクリックしてインストール先のディスクを切り替えます。
- (5) 「インストール」ボタンをクリックします。インストールの作業が開始します。



CAUTION

【注意】

Hello! Music! 2.0の一部のファイルだけをインストールしたい場合は、「インストール」ボタンをクリックする前に「カスタマイズ」ボタンをクリックし、インストールしたいファイルを選択してください。通常は、ハードディスクに余裕のあるかぎりすべてのファイルをインストールします。

- (6) 画面に表示される指示に従って、ディスク（Disk2）を入れ替えてください。インストールには数分かかります。  
インストールが無事終了すると、作業完了を知らせるダイアログボックスが現れます。
- (7) ボックスの中の「最起動」をクリックして、Macintoshを最起動します。

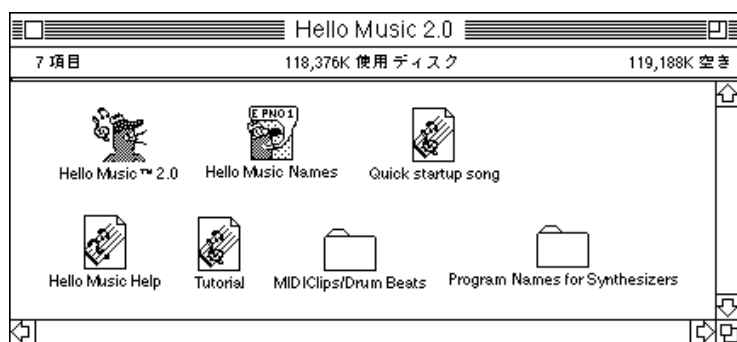


【ヒント】

ハードディスクの容量に余裕があれば、Demoソングのデータもハードディスクにコピーしておきましょう。通常のアイコンコピーの要領で、ソングデータのファイルをHello Music!のフォルダーの中にコピーしてください。

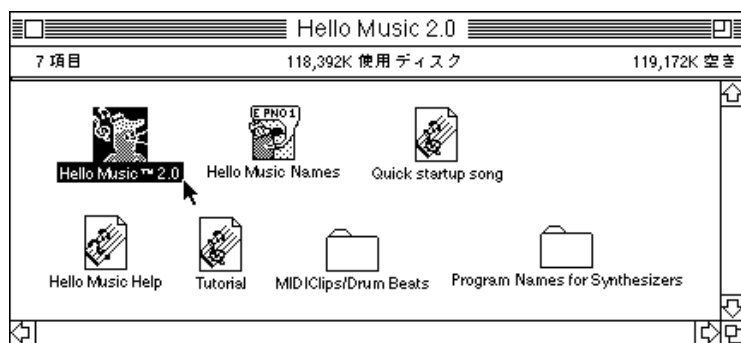
インストールが完了しMacintoshを再起動すると、インストール先のハードディスクの中に[Hello Music]という名称のフォルダーが作成されています。このフォルダーの中にHello! Music! 2.0の起動に必要なすべてのファイルが納められています。

(1) フォルダーをダブルクリックしてフォルダーを開きます。



Hello! Music! 2.0フォルダーの中身

(2) Hello! Music! 2.0のアイコンをダブルクリックしてください。Hello! Music! 2.0が起動します。



(3) インストール後Hello! Music! 2.0を初めて起動すると、つぎのようなダイアログボックスが現れます。

あなたの名前と所属およびシリアル番号を入力してください。シリアル番号はマスターディスクに印字されています。マスターディスクは安全な場所に保管してください。

名前	<input type="text"/>
所属	<input type="text"/>
シリアル番号	<input type="text"/>

MIDIインターフェース  
の設定

- (4) 名前、所属、シリアル番号を入力してください。  
名前と所属は、日本語でも英語でもどちらでも結構です。  
シリアル番号は、Hello! Music! 2.0のDisk 1のラベルに印刷されている番号です。英数モードで入力してください。番号の中のピリオド(.)も正確に入力してください。
- (5) 入力終了したら、「OK」をクリックします。  
画面は自動的に「MIDIボードセットアップ」表示になります。つぎの「MIDIインターフェースの設定」の操作を行ってください。

シリアル番号の入力が完了すると、「MIDIポートセットアップ」のダイアログボックスが現れます。一度設定するとこの表示は出なくなります。



Macintoshに音源（CBX-T3）を接続する場合、モデムポートとプリンターポートのどちらにでも接続することができます（複数の音源を使用する場合、両ポートに同時に接続することも可能です）。Hello! Music! 2.0を初めて起動するときには、音源がMacintoshのどちらのポートに接続されているかを指定しなければなりません。音源（CBX-T3）を接続しているポートの真下の をクリックしてチェックを入れてください。その他の設定は初期設定のままで結構です。  
設定が完了したら「OK」をクリックしてください。

「Apple MIDI Managerを使用」は文字が破線の状態になっていて使用することができません。この機能を使用する場合は、「Apple MIDI Manager」が必要です。



## 【注意】




AppleTalkをプリンターポートに接続し、同時に音源もプリンターポートに接続する場合、AppleTalkは切っておいてください。

## 【注意】

通信ソフトを使用していた場合、Hello Musicでモデムポートを使用できないことがあります。このような場合、MacintoshをリスタートさせてからHello Musicを起動してください。

# HELP機能




## オンラインヘルプ

 +  + 



## ヘルプメニュー

Hello! Music! 2.0には、便利なヘルプ機能があります。マニュアルを開かなくても、画面上で「オンラインヘルプ機能」を使用して機能の内容や操作方法などを知ることができます。



Macintoshのキーボードの 、、 キーを同時に押すと、カーソルが[?]に変わります。この[?]カーソルを機能や操作を知りたいメニューやボタンに移動させ、マウスのボタンをクリックすると、その機能や操作の説明（ヘルプメッセージ）が現れます。

オンラインヘルプは、Hello! Music! 2.0のウィンドウ内のほとんどのメニュー、ボタン、アイコンに対応しています。

### 【注意】

オンラインヘルプ機能を使用するためには、Hello! Music! 2.0起動時にHello MusicHelpファイルをHello! Music! 2.0と同じフォルダーの中に入れておかなければなりません。

Hello! Music! 2.0を使用中、画面上に「ヘルプ」が表示されます。ポインターをヘルプにあて、マウスのボタンを押したままドラッグすると、以下のヘルプメニューが現れます。

ヘルプの使い方	Hello! Music! 2.0のオンラインヘルプの使用法が表示されます。
キーボード ショートカット	Hello! Music! 2.0を、Macintoshのキーボードで操作するための、コマンドの一覧が表示されます。
スルー ショートカット	現在オープンされているソングを構成する各トラックをオープンします。 キーボードからこれらのトラックをオープンするためのキーボードショートカットも表示されます。 (1-10トラックは  + [1] ~ [0] キー、11-16トラックは  + [1] ~ [6] キー)
ウィンドウ ショートカット	Hello! Music! 2.0を構成する各ウィンドウをオープンします。 キーボードからこれらのウィンドウを開くためのキーボードショートカットも表示されます。
ポップアップ ヘルプ	この項目にチェック <input checked="" type="checkbox"/> がついていると、マウスのボタンを押している間だけ、ヘルプメッセージが表示されます。 チェック <input checked="" type="checkbox"/> がついていない場合は、もう一度マウスのボタンをクリックするまで、ヘルプメッセージが表示されます。

## 「Vision」ファイルについて

システムが漢字Talk 7の場合、Hello! Music! 2.0をインストールすると、Macintoshシステムフォルダーの「System」スツケースに「Vision」というファイルが自動的にコピーされます。（画面の文字入力メニューに「Vision」が表示されます。）「Vision」はHello! Music! 2.0専用のキーボード配列ファイルで、Hello! Music! 2.0を使用する際、ショートカットキーなどの割り当てを行います。「System」ファイルから「Vision」ファイルを移動すると、Hello! Music! 2.0が正常に動作しなくなります（「Vision」ファイルは他のアプリケーションでは、動作しません。）「Vision」ファイルは、Hello! Music! 2.0を起動したときに自動的に呼び出されます。

Hello! Music! 2.0をハードディスクから削除した後も、「Vision」ファイルは文字入力メニューに表示され続けます。不要の場合は「System」スツケースから「Vision」ファイルを取り出し、ゴミ箱に捨ててください。



## ノーテーション・リファレンス

Hello! Music! 2.0では、ソングデータを楽譜の形式で表示（ノーテーション・ビュー）し、その楽譜を印刷できる機能が追加されました。このノーテーション・リファレンスでは、Hello! Music! 2.0に付け加えられた楽譜表示によるエディットウィンドウの使用法と、新たに追加された「プリント・プレビュー・ウィンドウ」および楽譜の印刷について説明します。

### 楽譜表示についての注意

Hello! Music! 2.0のノーテーション機能は、記譜専用のプログラムなどに較べると多くの部分で簡略化されています。Hello! Music! 2.0では、通常の楽譜の形式でソングデータの表示や印刷はできますが、複雑なものでは表現できない場合があります。

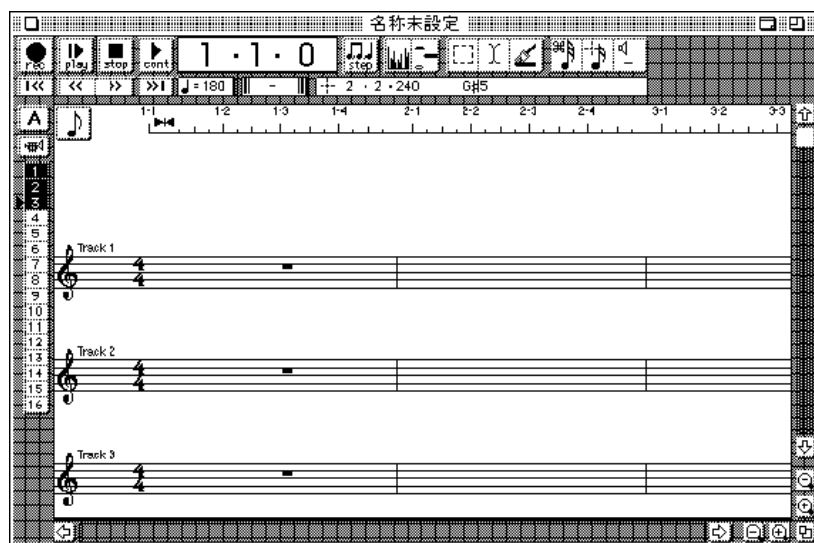
Hello! Music! 2.0のノーテーション機能では、楽譜に表示できるのは、音符、リズム、数行のテキストに限られています。強弱記号、スラー、複雑なエンディングなどは表記できません。休符も入力することはできませんが、音が無い部分に自動的に挿入されます。

Hello! Music! 2.0のノーテーション機能を使用した楽譜のレイアウトおよび印刷では、ユーザーが設定できるのは一段あたりの拍子数、譜表間の余白、その他のパラメータなどに限定されています（詳細については「プリント・プレビュー・ウィンドウ」の項をご参照ください）。



### 【ヒント】

ソングデータを編集する場合には、ピアノロール表示の使用をお薦めします。ピアノロール表示の方が楽譜表示に較べて、同時により多くの音を表示できるほか、より厳密に音符の位置を示すことができます。



楽譜表示

## (1) Sonata フォント

Hello! Music! 2.0には、楽譜を画面に美しく表示／印刷するために必要な「Sonataフォント」という特別なフォントが含まれています。

この「Sonataフォント」は、インストーラーによってHello! Music! 2.0をハードディスクにインストールするときに、同時に自動的にハードディスクにインストールされます。

「Sonata」以外のフォントを使用しても、楽譜を画面上に表示できません。

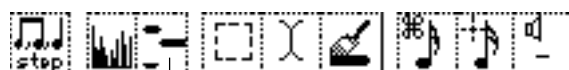
## (2) 表示の切り替え

Hello! Music! 2.0のエディットウィンドウでは、ソングデータをピアノロール形式で表示するか楽譜で表示するかを切り替えることができます。

ピアノロール表示では、縦軸が音の高低、横軸が時間の経過を表し、音が演奏されている部分は黒い長方形で示されます。

楽譜による表示では、通常の五線による楽譜の形ですべて表示されます。

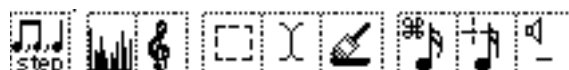
表示の切り替えは、エディットウィンドウのタイトルバーのすぐ下に並んでいるボタンをクリックして行います。



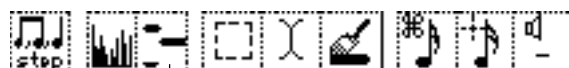
表示切り替えボタン

「表示切り替えボタン」をクリックすると、ピアノロール表示と楽譜表示が交互に切り替わります。

エディットウィンドウがピアノロール形式で表示されている場合、「表示切り替えボタン」にはト音記号が表示され、楽譜で表示されている場合には、ピアノロール上の音を表す長方形が表示されます。



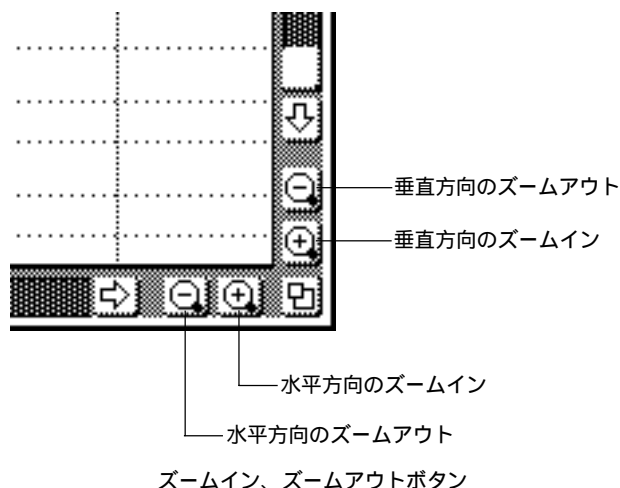
ト音記号が表示されている「表示切り替えボタン」



ピアノロール上の音が表示されている「表示切り替えボタン」

### (3) 表示のズームインとズームアウト

エディットウィンドウでは、右下にある「ズームボタン」を使用してズームイン、ズームアウトを行うことができます。



#### ズームイン

選択した範囲を簡単に“ズームイン”するには、option キーを押したまま（カーソルが虫メガネに変わります）、拡大表示したい音符上をドラッグします。楽譜表示ではフォントサイズは変わりません。また、マーキーやI-ビームカーソルで選択し、上図の「ズームインボタン」をクリックすることもできます。この方法の場合は、楽譜表示のフォントサイズが変わります。

#### ズームアウト

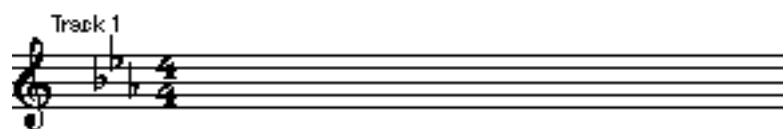
より大きな範囲のトラックを表示する“ズームアウト”を簡単に行うには、option キーを押したまま（カーソルが虫メガネに変わります）、希望する位置でマウスをクリックしてください。楽譜表示ではフォントサイズは変わりません。また、上図の「ズームアウトボタン」をクリックすることもできますが、この場合には楽譜表示のフォントサイズが変わります。

#### 画面に合わせてズーム

トラックに含まれるすべての音符を表示するには、option キーを押しながら[Z]キーを押すか、「オペレーション」メニューから「画面に合わせてズーム」を選択します。  
option キーを押しながら「ズームインボタン」か「ズームアウトボタン」をクリックすることもできます。

#### (4) 楽譜表示で表示されるトラック

通常、1トラックは1段の五線で表示されますが、トラックの音程が中央のC音から4度の間隔で上下に広がる場合は、大譜表（ト音記号とヘ音記号の楽譜）で表示されます。



音部記号は、音符の音程にもとづいて自動的に設定されます。たとえば、あるトラックに低音域の音符が多く含まれていれば「ヘ音記号」が、高音域の音符が多い場合には「ト音記号」が自動的に設定されます。

ピアノロール表示でも楽譜表示でも、shift キーを押したままトラックバーのトラックの番号をクリックしていくと複数のトラックを表示することができます。

トラックの一段譜に複数の声部を表示することも可能です。この場合、音符やタイの向きは、重複しないよう自動的に設定されます。

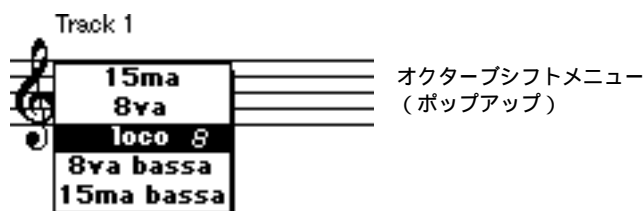


## (5) 楽譜表示の設定

### 楽譜のオクターブシフト

音程が極端に高い音や低い音を楽譜で表すと、加線が増えて楽譜が読みにくくなります。このような場合、Hello! Music! 2.0のオクターブシフト機能を使用すると、MIDIデータには手を加えずに楽譜の見た目だけをオクターブ間隔で上下させることができます。

1. シフトさせたい五線の左端の音部記号や拍子記号の下にカーソルを移動します。カーソルが“8”に変わります。
2. この状態で、マウスのボタンを押し続けると、オクターブシフトメニュー（ポップアップ）が現われます。
3. （ポップアップ）メニューの中から使用したいオクターブを選択します。



#### 【ヒント】

トラックごとに異なったオクターブに設定することもできます。

15ma 実音より2オクターブ低く記譜されます。

8va 実音より1オクターブ低く記譜されます。

loco 実音と同じオクターブで記譜されます。

8va bassa 実音より1オクターブ高く記譜されます。

15ma bassa 実音より2オクターブ高く記譜されます。

### 表示解像度 (表示クオンタイズ)

現在の五線を使用したノーターションシステムでは、演奏されたものを完璧に楽譜に再現するのは不可能なのが現状です（特にタイミングの面で）。逆に、演奏されたタイミング通りに楽譜を再現すると、非常に読みにくい楽譜ができてしまいます（下図）。



表示クオンタイズを32分音符に設定した楽譜



表示クオンタイズを8分音符に設定した楽譜

したがって、実際の楽譜ではある程度のタイミングのズレは犠牲にしても、読みやすさという点を考えなければなりません。Hello! Music! 2.0には、演奏のタイミングを変えずに、楽譜のクオンタイズレベルだけを変える「表示解像度メニュー」が用意されています。このメニューから適当な表示クオンタイズを選択することによって、読みやすい楽譜を作成することができます。

#### 表示クオンタイズの選択

楽譜が表示されているウィンドウの左上隅に、現在選択されている表示クオンタイズの単位が表示されています。



——— 現在の表示クオンタイズ

この上にポインターを移動しマウスのボタンを押すと、「表示解像度メニュー」（ポップアップ）が現われます。

「表示解像度メニュー」から使用したい音符を選択します。



表示クオンタイズの選択

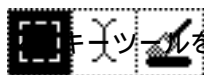
### (6) 楽譜上の音符の選択

五線上の音符は一つずつでも、まとめてでも選択することができます。音符を一つずつ選択する場合は、音符の丸の部分（符頭）をクリックしてください。複数の音符を選択したい場合は、shift キーを押しながら符頭をクリックしてください。選択された音符は、黒色の符頭が反転します。

「オペレーション」メニューの中の“全てを選択”を選択すると、表示されているトラックのすべての音符と他のMIDIイベントを選択できます。

### マーキーツール

マーキーツールは、表示画面内の任意の四角い領域を選択することができます。

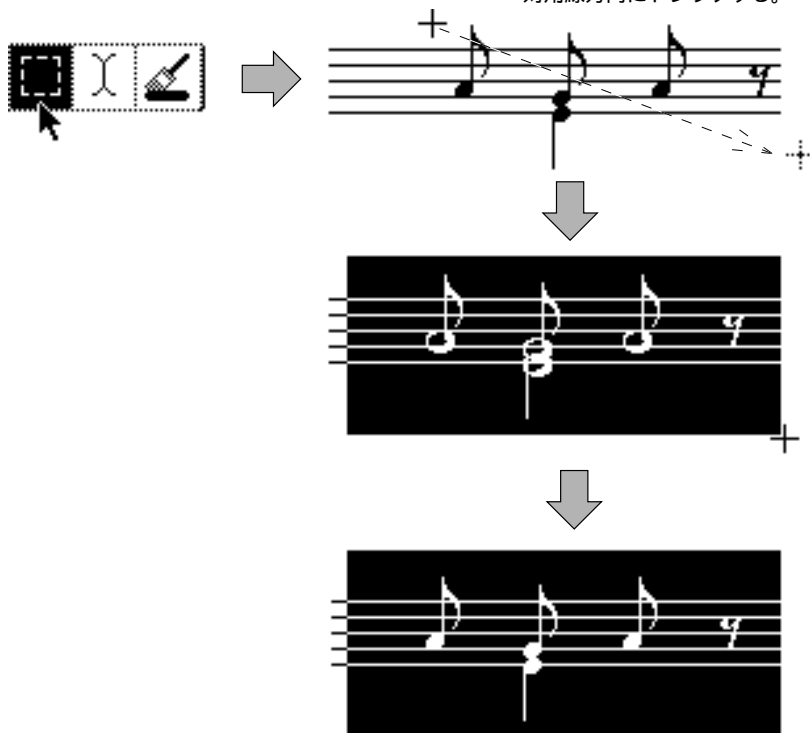


マーキーツールを使用するには、まずウィンドウ上部にあるマーキー

マーキーツール

ツールのアイコンをクリックしてください。次に、1点を（選択したい音符の外側を）クリックして対角線方向にドラッグすると、その領域に含まれるすべての音符が選択されます。

選択を中止する場合は、楽譜表示の中の選択されていない部分をクリッ



マーキーツールを使った音符の選択

クしてください。

【注意】

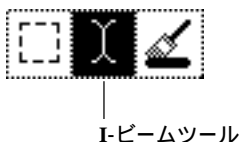
マーキーツールを使用する場合、カーソルが十字になっていることを確認してください。音符変更のカーソルでは、音符をクリックすると範囲の選択ではなく音符をドラッグすることになります。



CAUTION

I-ビームツール

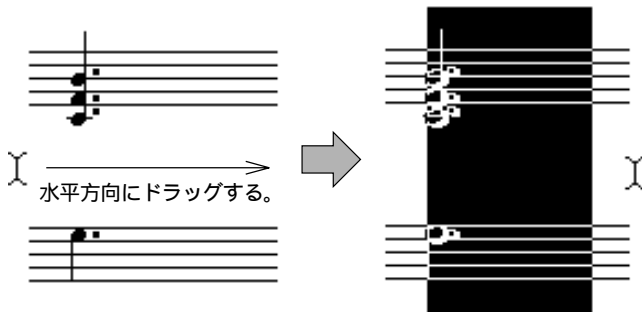
まず、ウィンドウ上部にあるI-ビームツールをクリックします。



水平方向の選択（時間軸方向）

カーソルがI-ビームになっていることを確認し、選択したい範囲をマウスで水平にドラッグしてください。I-ビームでドラッグした間のすべての音符と他のMIDIイベントが選択され反転します。

選択を中止する場合は、楽譜表示の中の選択されていない部分をクリックカーソルをI-ビームにする。



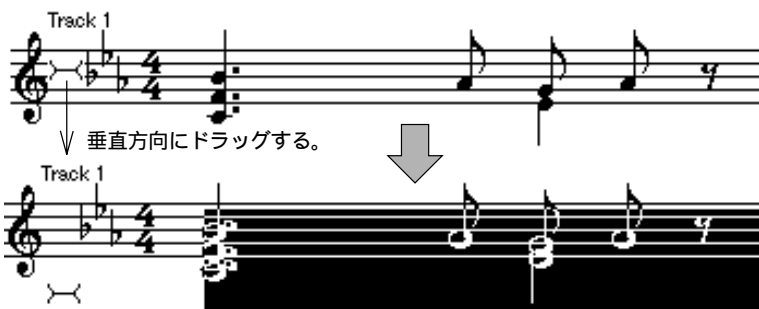
I-ビームツールを使った水平方向の選択

クしてください。

#### 垂直方向の選択

カーソルがI-ビームになっていることを確認し、カーソルを五線の左端、音部記号と拍子記号の間に移動してください。カーソルが縦のI-ビームから横のI-ビームに変わります。この状態でマウスを垂直にドラッグすると、特定の音域内の音符だけをすべて選択することができます。（この場合、水平方向にはトラックの最後まで選択したことになります。）選択されたすべての音符が反転します。

選択を中止する場合は、楽譜表示の中の選択されていない部分をクリックカーソルをI-ビームにする。



I-ビーム・ツールを使った垂直方向の選択

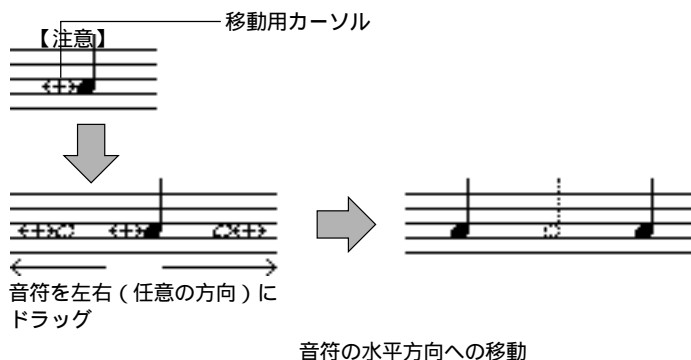
クしてください。



## 変更

音符の符頭（音符の丸の部分）にカーソルを移動すると、音符上のカーソルの位置によってカーソルの形が変わります。

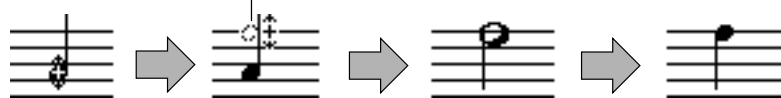
符頭の左側では、カーソルは音符の移動用カーソルに変わります。音符のタイミングを変更する場合は、このまま音符を左右にドラッグしてください。



この場合、音符の長さは変わりません。隙間が残る場合は、Hello! Music! 2.0が自動的に必要な長さの休符を挿入します。

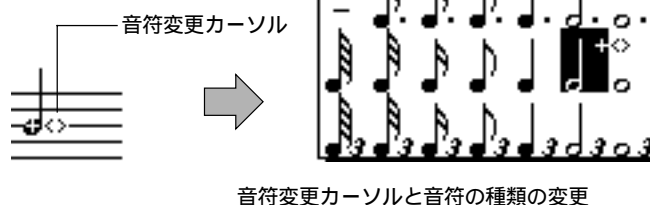
符頭の中央にカーソルを移動すると、カーソルはトランスポートカーソルに変わり、そのままドラッグすると音符の音程を変更することができます。

符頭の右端にカーソルを移動すると、カーソルは音符変更カーソルにな



ります。この状態でマウスのボタンを押すと、（ポップアップ）メニューが現われ、音符の種類を変更することができます。

## 音符の編集



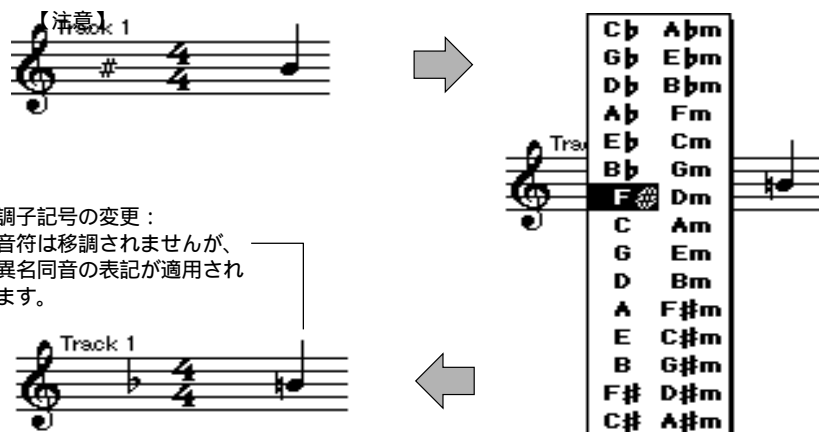
## (8) キーと拍子の変更

### 調子記号の変更

画面上の「編集」メニューや「オペレーション」メニューには、音符の編集に用いるコマンドが数多く用意されています。これらのコマンドはピアノロール表示の場合と同じです。詳しくは、「CBX-201ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

表示されている楽譜の調子記号を変更したい場合、カーソルを五線の左端、音部記号と拍子記号の間の調子記号が挿入される位置に移動してください。

カーソルが“#”に変わります。この状態でマウスのボタンを押すと、調子記号設定の（ポップアップ）メニューが現われます。使用したい調子記号を選択すると、五線に必要な数の「シャープ」または「フラット」が挿入されます。



一つのトラックの調子記号を変更すると、すべてのトラックの調子記号が変更されます。



#### 【注意】

調子記号を変更しても音符は移調されませんが、異名同音の表記が適用されます。

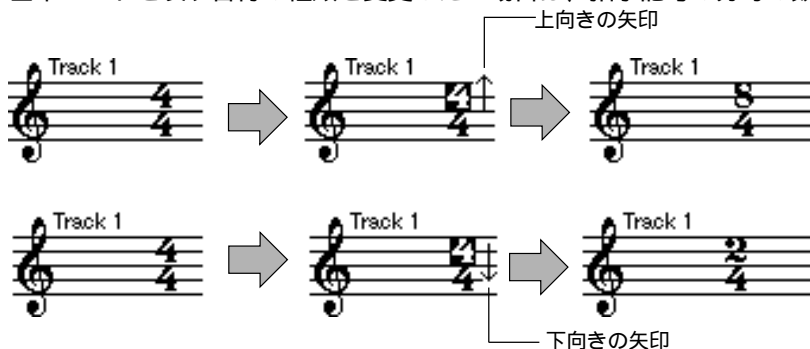
### 拍子記号の変更

表示されている楽譜の拍子記号を変更したい場合、拍子記号の分母と分子を別々に変更することができます。

小節の拍数を変更したい場合は、拍子記号の分子の数字にカーソルを移動してください。

マウスのボタンを押し続けると、上向き、または下向きの矢印が現われ、数字が変わります。希望する数値に変更してください。

基本ビートを表す音符の種類を変更したい場合は、拍子記号の分母の数



拍子記号の分子の数値の変更

字にカーソルを移動してください。

マウスのボタンを押し続けると、（ポップアップ）メニューが現われます。希望する数値（音符の種類）を選択してください。



拍子記号の分母の数値の変更

## プリントプレビューウィンドウ

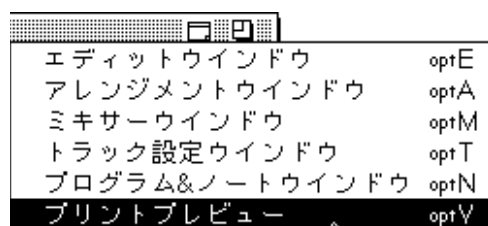
Hello! Music! 2.0では、エディットウィンドウで楽譜表示を選択しているときだけ、楽譜を印刷することができます。複数のトラックを楽譜として印刷する前に、プリントプレビューウィンドウや書式設定によって、印刷結果を事前にチェックしながらいろいろな設定を行うことができます。

Hello! Music! 2.0には、実際にプリンタで楽譜をプリントアウト（印刷）する前に、楽譜がどのように印刷されるかを見ることができる「プリントプレビュー機能」があります。この機能を使うことで、プリント用紙を無駄にせずにきめ細かな書式設定を行うことができます。また、この「プリントプレビューウィンドウ」では、タイトル、コメント、作曲者名の記入や変更なども行うことができます。

Hello! Music! 2.0ではトラック(楽譜)の最後に自動的に終了の小節線を追加します。

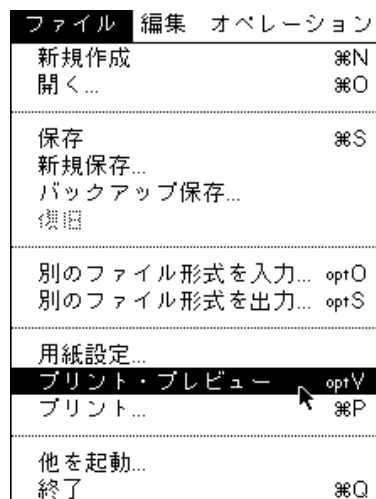
プリントプレビューウィンドウは、次のどちらかの方法で呼び出すことができます。

- ・エディットウィンドウで楽譜が表示されているときに、（ポップアップ）ウィンドウボタン（下図）をクリックし、“プリントプレビュー”を選択してください。



（ポップアップ）ウィンドウボタンで“プリントプレビュー”を選択

- ・「ファイル」メニューから“プリントプレビュー”を選択してください。



「ファイル」メニューから“プリント・プレビュー”を選択



「プリントプレビュー」ウィンドウ

プリントプレビューウィンドウに表示されている楽譜通りに印刷されます。実際の印刷ではこのプレビューに基づいてページが送られます。エディットウィンドウに表示される楽譜は、プレビューウィンドウとは異なり、連続してスクロールするためにページの区切りはありません。

## (1) 書式設定の各項目の単位

プリントプレビューウィンドウの上部には書式設定欄があり、楽譜をどのように印刷するかを細かく設定できるようになっています。

「ページの総譜表数」と「ページ数」の欄は、ここで直接変更することができません。他の設定に問題が無い場合には、これらの数値がそのまま使用されます。他の項目はすべて変更可能です。

書式設定の各項目で使用される長さの単位は、インチ (in.) またはセンチメートル (cm.) のどちらかを選択することができます。

単位は、表示されている単位 (in. または cm.) をクリックするだけで変更できます。

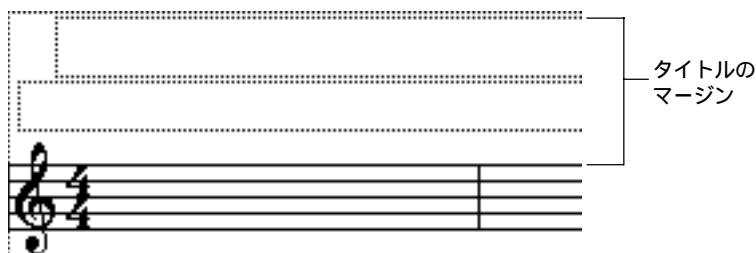
どちらの単位でも書式設定の方法は変わりません。

タイトルのマージン	0.80 in.		タイトルのマージン	2.03 cm.
総譜表の間隔	0.30 in.		総譜表の間隔	0.76 cm.
五線の間隔	0.01 in.		五線の間隔	0.02 cm.
五線のインデント	0.00 in.		五線のインデント	0.00 cm.

単位の変更

## (2) タイトルのマージン

これはソングタイトルの上端から一番上の五線までの間隔を設定します。



## (3) 総譜表 (スコア) の間隔

総譜表 (スコア) とは複数のトラック (五線譜) をまとめ上げたもので、一般には同時に演奏されるパート譜の集合を意味します。総譜表は最大32段までまとめることが可能です (エディットウィンドウで16トラックすべてを大譜表 (ピアノ譜) を使用した場合)。

「総譜表の間隔」では、総譜表の下端から、その下にある総譜表の上端までの間隔を設定します。

総譜表（スコア）



2つのパート譜から成る総譜表（スコア）と「総譜表の間隔」

#### (4) 五線の間隔

これは同じ総譜表内の五線どうしの間隔を設定します。



「五線の間隔」

#### (5) 五線のインデント

これはプリンタに設定した左右のマージンから、五線の左右両端までの余白を設定します。



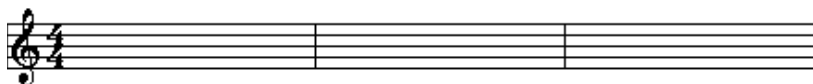
「五線のインデント」

## (6) 一段の小節数

これは印刷される楽譜の五線一段あたりの小節数を設定します。



五線一段あたり2小節に設定した場合



五線一段あたり3小節に設定した場合

## (7) 一ページの 総譜表数

ここでは各ページに印刷される総譜表の数が表示されます。この数値は直接変更することはできません。書式設定の他の項目の設定に伴い、自動的に数値が設定されます。

## (8) ページ数

ここではプリントアウトされるページ数が表示されます。この数値は直接変更することはできません。書式設定の他の項目の設定に伴い、自動的に数値が設定されます。

## (9) 現在のページ

現在ウィンドウに表示されているページ番号が表示されます。この数値を変更すると表示されるページが変わります。

## (10) ページ番号印刷

このボックスがチェックされている場合、ページ番号が各ページの右下に表示、印刷されます。  
このボックスがチェックされていない場合、ページ番号は表示、印刷されません。

## (11) 小節線を 総譜表内で連結

このオプションが選択されて（チェックされて）いると、小節線が総譜表内のすべての五線間を結びます。このオプションが選択されていない（チェックされていない）場合は、小節線は各五線単位で記入されます。  
この機能によってスコアをより読みやすくすることができます。



☒ 小節線を総譜表内で連結



「小節線を総譜表内で連結」がチェックされている場合

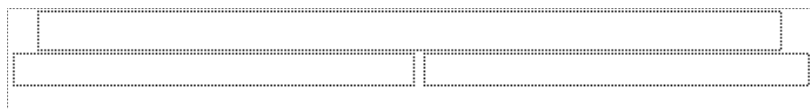
☐ 小節線を総譜表内で連結



「小節線を総譜表内で連結」がチェックされていない場合

## テキストの追加

楽譜の最初のページには、テキスト（文字）を入力できるボックスが3つあります。テキストを入力したい場合、入力したいボックスをクリックして、Macintoshの通常のテキスト入力の方法で文字を入力してください。



3つのテキスト入力ボックス

3つのテキスト入力ボックスに入力する文字フォントはすべて共通になります。したがって、「フォント」メニューから異ったフォントを選択すると、すべてのテキストのフォントが変更されます。3つのテキスト入力ボックスは最初のページだけに表示されます。

### フォントメニュー

「フォント」メニューは、プリントプレビューウィンドウが開いているときだけメニューバーに現われます。

「フォント」メニューを開くと、そのシステムで利用可能なフォントのリストが現われます。

フォントを変更する場合は、以下の手順で行ってください。

いずれかのテキスト入力ボックスを選択します。

- ・使用したいフォントを「フォント」メニューから選択します。

3つのテキスト入力ボックスの中のすべてのテキストが新しいフォントに変わります。

印刷の準備が整ったら、「ファイル」メニューから“プリント...”を選択します。使用するプリンターによっては、ダイアログボックスが表示されて詳細な設定を促します。

「ファイル」メニューの中のプリントアウトに必要な項目は次の通りです。

### 用紙設定...

この項目を選択すると、使用するプリンターで標準の用紙設定ダイアログを表示します。セクターでプリンターを変更した場合は、このメニュー項目を選択します。このダイアログ・ボックスによって、使用するプリンタ特有の印刷機能を設定できます。詳しくはプリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

### プリントプレビュー

この項目を選択すると、プリントプレビューウィンドウがオープンします。

### プリント...

このコマンドを選択すると、プリントプレビューウィンドウで表示されたイメージ通りに楽譜が印刷されます。

# YAMAHA

COMPUTER-BASED MUSIC SYSTEM

## CBX-201

ヤマハ株式会社